

# 道標ない旅

自分も人も大切に  
～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～



令和2年度 第35号  
2021.3.4発行  
葉山町立長柄小学校  
校長 益田孝彦  
Tel. 046-875-6860  
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 児童の学習成果が校内いたるところに、たくさん貼られています。 ◆◆

緊急事態宣言下、ご覧いただくことができませんが、各学年が生活科・総合的な学習の時間等で、学習した成果物が、校内のいろんなところに貼られていて、目を楽しませてくれます。(全部を紹介できないのが大変残念です。)

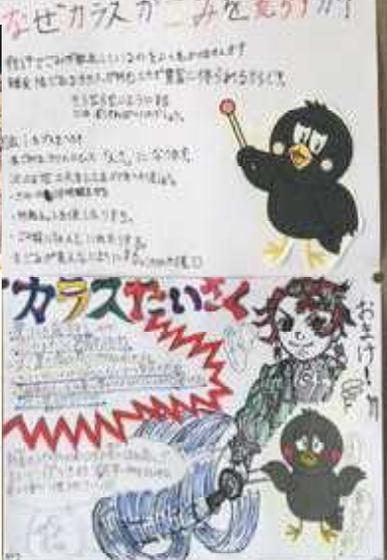
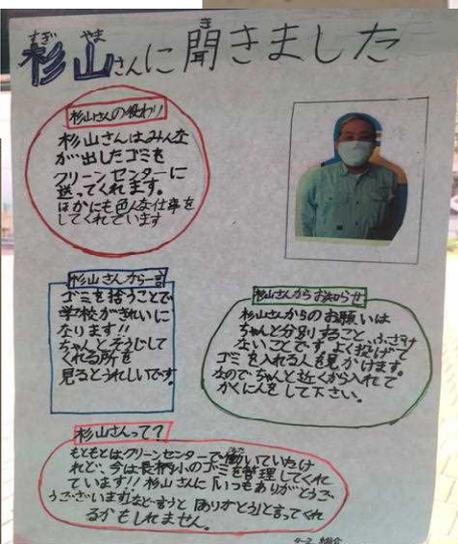
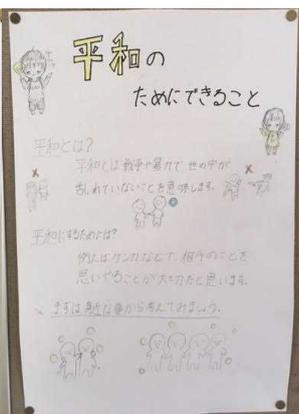
給食委員会が提案した、給食室の皆さんへのメッセージは、各学年いろんなところに貼られています。写真は1年生のものです、気持ちのこもったメッセージが伝えられました。

3年生が作った各種ポスターもたくさん見かけます。3月2日の給食の時間には、3年3組さんが、お昼の放送で、「げんべい」さんを通して学んだことを放送で発表していました。



4年生が取り組んだゴミ問題も業務員の杉山さんへの取材や、カラス問題を取り上げるなど活発です。先日は、ゴミにされていたものからきれいなフラワーアレンジメントを作り、玄関先や校長室等に飾っています。

6年生が取り組んだ平和についても、学習の結果意見を持った児童が多くいたようで、各自の考えを発表した作品がいろいろな場所に貼られています。



◆◆ 6年生が考えた給食メニューを楽しんでいます。 ◆◆

2月26日(金)は、6年1組が考えた、給食メニューを大変おいしくいただきました。メニューは、「わかめごはん カニクリームコロッケ アサリの味噌汁 大根サラダ リンゴジュース シューアイス (チョコ)」でした。3日水曜日には、6年3組メニュー。5日金曜日には、6年2組メニューと続きます。

昼の放送を活用して担当クラスからの、全校児童へのアピールやメッセージといった紹介も有り、とても素敵な企画です。大変楽しい給食となっているようです。



◆◆ 御霊神社周辺で遊んでいる児童の皆さん 遊び方に気をつけましょう。 ◆◆

御霊神社の氏子の皆さんが大変憂いていること、お怒りのことが伝えられました。26日金曜日、その様子を撮影してきました。



すると、柵やロープで侵入を禁じている場所に入り込んで、崖の土砂が下に落ちていることが分かります。神社周辺で遊んでいる児童が入り込んで見られるようで、子どもたちの遊び方が問われています。「侵入を禁じている場所に入り込む」行為は、すぐに止めなければなりません。神社上側に杉木立が有り、その場所の利用方法を含め、御霊神社にご迷惑をかけない利用の仕方を身につけていかねばなりません。

長柄の歴史は、平安末期から鎌倉時代に活躍した三浦一族の家人「長江太郎義景」が、居城を長柄大山殿谷（とのがやつ）に構えたことに始まると言われています。義景は頼朝に仕え神宝奉行を命じられ、伊勢神宮に將軍の代参をするなど、長江氏一族は鎌倉幕府の重臣として活躍しました。その義景が建立したのが御霊神社です。その由緒正しい歴史のある御霊神社を、長柄地区に住む私たちは大切に守り続けていきたいものです。学校でも改めて周辺で遊ぶ児童に対して、遊び方を指導いたします。同時にお子様が進んでいるという保護者の方々も、児童が進禁の崖に入っていないよう、併せてご指導頂けると大変助かります。

◇◇ GIGA スクール構想 長柄小学校編パート1 ◇◇

コロナ禍にあって、葉山町も一人一台のコンピュータ貸与が開始されます。最近 Google for Education を導入する学校、教育委員会が急速に増えています。なぜ Google for Education が選ばれるのでしょうか。ポイントを紹介したいと思います。

■課題解決力を養うのに最適なツールといわれています。

今求められているのは課題解決力です。新学習指導要領では主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を通して課題解決力を養うことが書かれていますが、そのような学びに適したツールとして Google for Education があります。Google for Education を学校生活の中で日常的に使うことによって、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力（コラボレーション能力）といった課題解決力に必要な能力を高めしていくことができるようになっていくでしょう。（ただし、このことは Google for Education だけの長所ではありません。）

■校務や授業で使うツールがすべて無料となっています。

Google for Education では文書作成アプリ（ワードに匹敵）、表計算アプリ（エクセルに匹敵）やプレゼンテーションアプリ（パワーポイントに匹敵）といった最低限必要なアプリ群（G Suite for Education）とクラウド上のデータ保存が、教育機関であれば無償で利用できます。特にクラウド上のデータ保存サービスである Google ドライブが、無償で無制限に利用できるのは本当にすごいことで、パソコンのハードディスクの容量を気にしたり、共有フォルダや共有サーバの空き容量を気にすることが一切なくなります。これはすごいことと言えると思います。これだけで選ばれる十分な理由になります。

■ Chromebook を使うことで端末管理が劇的に簡単になる

Chromebook を導入した場合には1台につき1つの管理ライセンス（Chrome Education）を購入することができます。このライセンスは月や年更新というものではなく、1回買い切り型のライセンスですのでコストも抑えられます。管理ライセンスを導入する最大のメリットは、IT 担当者の保守運用にかかる時間が大富に削減できることです。Chromebook にこの管理ライセンスを併せて導入すると、各種アプリのインストール・アンインストールをライセンス管理している端末に対して数クリックで一気に行うことができます。今までのように1台1台 PC を起動し操作する必要はありません。児童生徒が Chromebook をいつものように起動するだけで、自動でアプリのインストールなどが実行されます。先生と児童生徒を邪魔しない、授業を邪魔しない設計となっているといえます。使うときにはいつも最新のシステムになっていて、ソフトインストールが必要ないことは、実はすごいことだと思っています。

…とまあ、今まではマイクロソフト全盛だと思っていたのですが、良いのか悪いのかは分かりませんが、こんな戦略を打ち出したグーグルが世界を制してしまうのは、明らかなように感じます。グーグルは日々システムの改良に投資をしており、どんどん変わっています。先日まで「G Suite for Education」と呼んでいた学習ツールアプリ群の名称も、2月18日から「G workspace for Education fundamentals」と名称変更が行われました。どんどん変えていこうという基本姿勢があるようです。今日は少し長かったです。これから短くでも GIGA スクール構想に係るパート続編をお伝えしていきます。